

学校教育目標	「笑顔いっぱい やさしさいっぱい 芹が谷大好き みんな生き生き 芹南っ子」 (知)友達との学び合いを通して考えを深め、自ら学んでいく子を育てます。 (徳)自分を支えてくれるまわりの人に感謝の気持ちを持ち、自分も友達も大切にすることを育てます。 (体)豊かな心と健やかな体を持ち、命を大切にすることを育てます。 (公)芹が谷のまちに愛着を持ち、地域と共に生きる子を育てます。 (開)自分の気持ちを素直に表現し、未来に向かって生きる子を育てます。					
	学校概要	創立 50 周年	学校長 大島 恵子	副校長 柴 諭	2 学期制	一般学級: 12 個別支援学級: 3
	児童生徒数:	304 人	主な関係校: 芹が谷中学校・上永谷中学校・東永谷中学校			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	芹が谷中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
＜コミュニケーション能力＞	芹が谷中学校 芹が谷南小学校 芹が谷小学校	発達段階に応じたコミュニケーション能力の伸長 「自分の思いを大切にし、相手のことを考えて伝える子」 ・ブロック合同授業研修及び研究協議会を行い、「学方観・指導観・評価観」を共有し、授業改善を通し子どもたちの学力向上を図る。 ・児童生徒交流の機会として、授業見学や部活動体験、コンサートなどを実施し、小学校から中学校への接続を円滑に進める。 ・3校の児童生徒代表が学校づくりについて話し合うとともに、地域のネットワークの中で意見交換することで、挨拶運動等の取組を地域とともに広める。

中期取組目標	3年間を通して、保護者・地域と共に「子どもたち一人ひとりが 生き生きと学ぶ 芹が谷南小学校」を創っていきます。 ○学ぶことの意義や楽しさを感じながら基礎・基本を身に付け、知をはたらかせて生きる力を育みます。 ○自分を大切にすると、相手の立場や気持ちを考えて行動する態度を育みます。 ○自分の健康や安全について考え、心身ともにたくましく生きる力を育みます。 ○自分たちのまちに愛着を持ち、コミュニケーションを図って視野を広げ、つながりを大切にすることを育みます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
知 生きて働く知【授業改善】 担当 学力向上・評価部会	①「わかる・たのしい授業」を通して基礎・基本を身につけるために、学年教科分担任制(3年～6年)で行う中で教材研究をしっかりと行い、少人数指導や学習ルームの個別指導等を充実させる。 ②生活・総合の学習を中心に、子どもの願いを大切に、主体的に学び続ける児童を育成する。
徳 豊かな心【道徳・人権】 担当 道徳、人権・児童指導部	①横浜子ども会議芹南実行委員が中心となり、「だれにとっても 居心地のよい学校づくり」をテーマに児童発信の活動を行い、学校全体で取り組んでいく。 ②道徳の授業及び人権教育の充実を図り、日常の行動に生かすようにする。
体 健やかな体【健康・安全】 担当 保健・安全部会	①健康や身体に関する正しい知識を持ち、生活習慣を意識して健康への関心を高めるような働きかけをする。 ②地域や外部機関との連携を図り、安全について多様な学びの機会を設定する。
公 自分づくり教育【キャリア教育】 担当 特色ある活動部会	①なかよし学年やクラブ活動では、異学年交流を充実させ、つながりを築く活動を展開する。 ②自らの学びを振り返りながら、新たな意欲につなげたり自分のよさに気付いたりする活動を充実させる。
いじめへの対応 担当 人権・児童部会	①教職員全体で情報共有及び共通理解を図り、いじめをゆるさない風土をつくり、いじめ防止対策委員会を中心に組織的・継続的に支援・指導する。 ②Y-Pアセスメントやアンケートを計画的に実施し、児童の課題を早期発見し、早期対応する。 ③芹南スタンダードを基に、児童の認識を深め、規律ある学校生活を遅れるようにする。
人材育成・組織運営(働き方) 担当 教務部	①校内研修を計画的に実施し、コンプライアンス、児童指導、危機管理等、必要な事項や留意すべき点を確認して資質を向上させる。 ②一人一回公開授業を行う重点研究をはじめ、メンターチーム研修等相互に授業を参観し、学習指導・児童指導の実践力を高める。 ③校内分掌の組織及びねらいを明確にして効率よく会議を進め、機能及び内容の充実を図る。
特別支援教育 担当 特別支援コーディネーター	①支援の必要な児童が安心して学校生活を送るために、必要に応じて関係諸機関と連携しながら組織的に指導にあたる。 ②「個別の支援計画」「個別の指導計画」を立て、個に応じた指導・支援を充実させる。 ③支援が必要な児童のよさが認められ、安心して過ごせる居場所作りをする。
地域学校協働活動 担当 教務部	①学校運営協議会、学校だより、ホームページなどで情報発信し、学校教育への理解を深め、地域とともにある学校づくりを目指す。 ②今までのつながりから地域の材を生かしつつ、新たな材を開発し、地域の方々とふれ合う機会を設定し、児童がまちのよさを感じられるように交流を図る。